

第24回神奈川糖尿病ネットワーク研究会のご案内

増え続ける高齢糖尿病患者をいかに管理していくか。普段より皆様、憂慮されていること
と思います。認知症の患者。肝・腎機能が低下している患者。心筋梗塞や脳梗塞を合併して
いる患者・・・今回は、高齢者糖尿病の臨床的な特徴を整理し、高齢者を包括的評価し、
どのような薬剤を選択したらよいかをわかりやすく解説いたします。ぜひご参加ください。

日時 2012年5月23日（水） 19時15分～

場所 神奈川県保険医協会 会議室

（住所：神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-23-2TS プラザビルディング 2F）

共催 神奈川県保険医協会／大日本住友製薬株式会社

プログラム

19:15～19:30	情報提供（大日本住友製薬株式会社） テーマ：「速効型インスリン分泌促進剤 シュアポスト錠について」
19:30～19:45	神奈川糖尿病ネットワークの紹介
19:45～20:45	講演 テーマ：「高齢糖尿病患者の老年症候群を減らすための薬物療法」 講師：東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科部長 荒木 厚氏
20:45～21:00	質疑応答

※神奈川糖尿病療養指導士認定更新のための研修会（2単位）です。

※日本糖尿病療養指導士認定・更新のための研修会（第2群0.5単位）申請中です。

※日糖協療養指導医取得のための研修会です。

※日医生涯教育認定（2単位）講座（CC）

【14.医療と福祉の連携】【19.身体機能の低下】【29.認知能の障害】【76.糖尿病】申請中です。

《申込書》

医療機関名：	
ご氏名：	ご職種
TEL：	
ご住所：	

◇研究会へのお問い合わせは、神奈川県保険医協会 研究部まで。 TEL:045-313-2111

返信先 FAX：045-313-2113

研究会 会場地図：神奈川県保険医協会



神奈川県保険医協会

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-23-2 TS プラザビルディング 2F
TEL.045-313-2111 / FAX.045-313-2113

【講演要旨】

《高齢糖尿病患者の老年症候群を減らすための薬物療法》

■東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科部長 荒木厚氏

□ 高齢糖尿病患者は認知症、転倒などの老年症候群が約2倍多く、高血糖や低血糖が悪化要因となる。老年症候群を減らすためには DPP-4 阻害薬、BG 薬など低血糖が少ない薬剤、食後高血糖改善薬を使用し、SU 薬使用は少量に留める。